

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 12 月 1 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=調整の戻り上昇局面、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1のラインの上方を推移するかぎり、調整の戻り上昇局面と判断。一方、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。尚、終値がセンターラインの上方で引けると、本格的な調整の戻り上昇局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1ラインと-1ラインの間でのレンジ相場と判断。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場、本格上昇トレンドの兆候は続く

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=+2ラインと+1ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が+1ラインの上方を推移し続けるかぎり、本格上昇トレンド入りのシナリオは残る。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=緩やかな上昇トレンド、調整の反落局面

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。一方、調整反落局面継続のシナリオは存続とも読む。すなわち、+1ラインから+2ラインのゾーンは、一旦は戻り売りのチャンスと読む。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場、乱高下の展開

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2のラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=緩やかな上昇トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。一方、依然として、調整の反落局面の中にあるとも読める。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=調整の戻り上昇局面、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1のラインの上方を推移するかぎり、調整の戻り上昇局面と判断。一方、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格下落トレンド入りの兆候続く、レンジ相場、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転するかどうかの瀬戸際

○トレンド判断と戦略=目先、レンジ相場に入るシナリオも出てきた格好。一方、今後、遅行スパンが陰転し続け、終値が-1ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が鮮明になると、本格下落トレンド入りする可能性が高まると判断。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=乱高下の展開、本格上昇トレンド入りの可能性もあり

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、乱高下、往來相場の展開と判断。+3ラインとセンターラインの間での展開と読む。一方、終値が+1ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドに入る可能性も高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+2のラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。